経済産業省
九州経済産業局
Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry

【資料3】

九州半導体人材育成等コンソーシアム（第３回会合）事務局報告

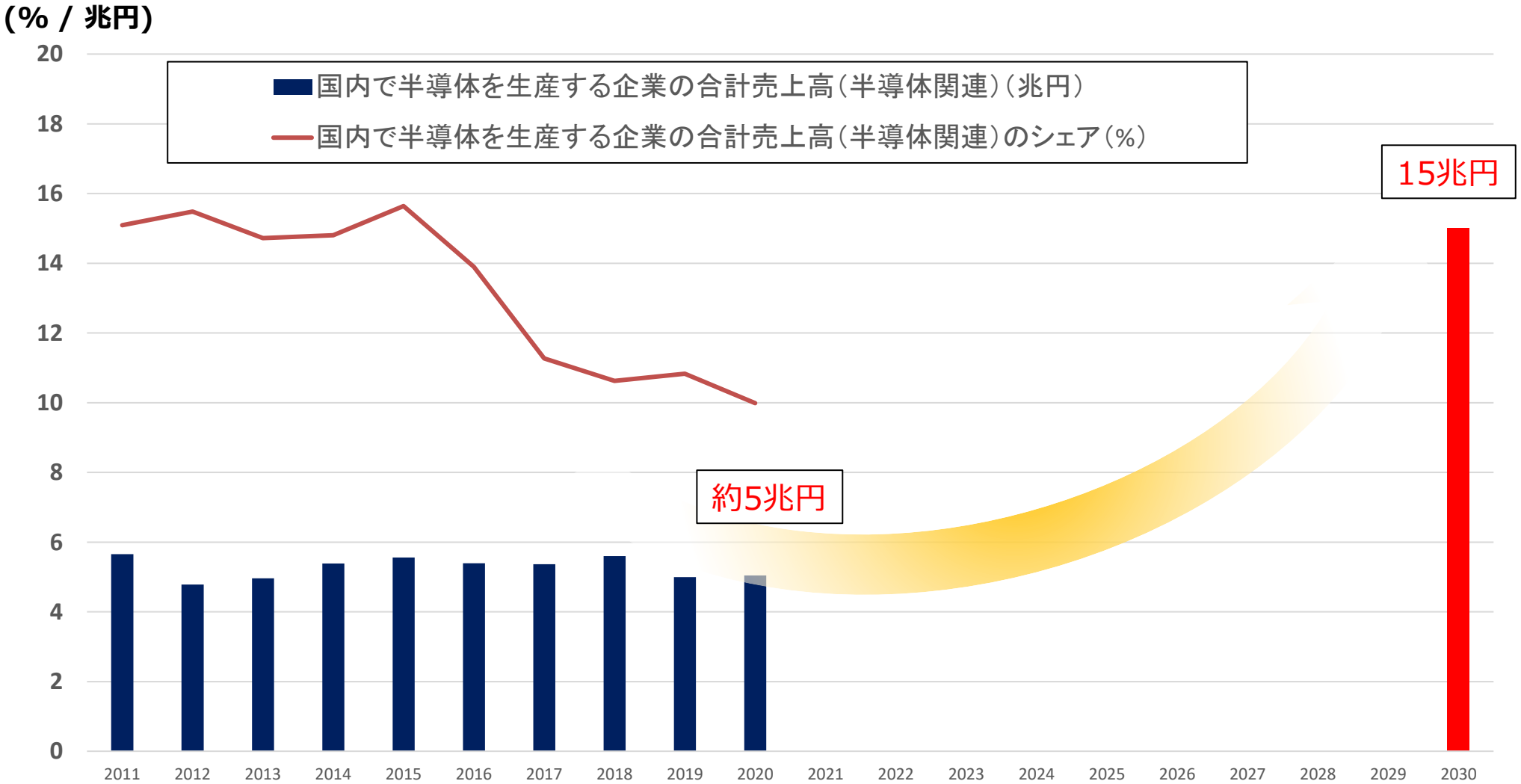
2023年7月26日

九州経済産業局

１．九州の現状/全国の動向

半導体・デジタル産業戦略　～ 売上高の増加目標 ～

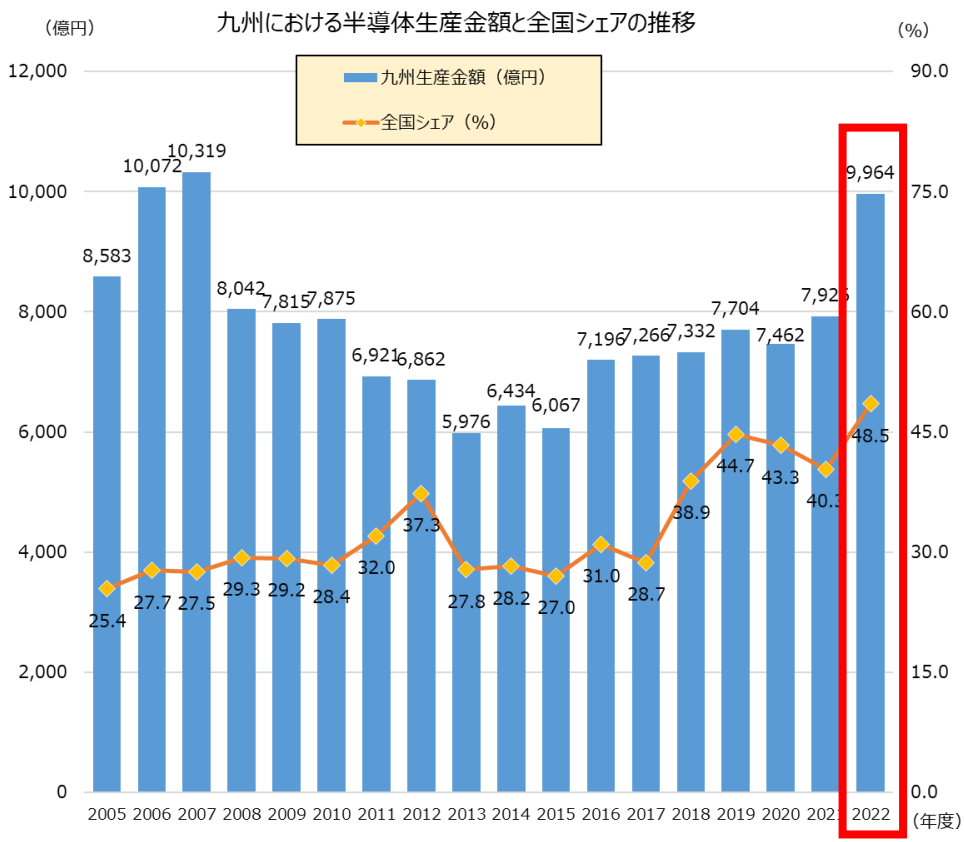
- **<u>2030 年に、国内で半導体を生産する企業の合計売上高（半導体関連）として、15 兆円超を実現</u>**し、我が国の半導体の安定的な供給を確保する。



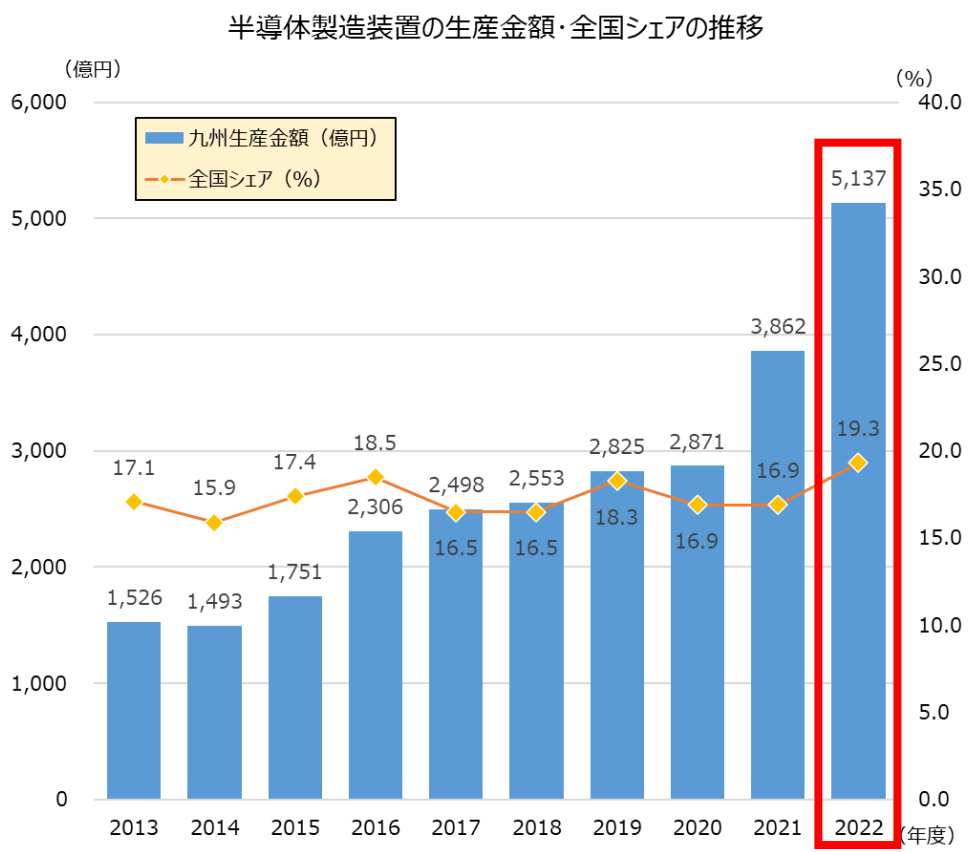
（出典）実績分について、世界全体の売上はOMDIA、日本国内売上は経済産業省「工業統計調査」の品目別出荷額の値を集計。出荷額については、半導体関連（半導体素子、光電変換素子、集積回路）及び、「他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路」のうち半導体関連品目を出荷額ベースで按分した値の合計。

九州の半導体産業の動向①　九州の半導体/製造装置の生産の推移

- 2022年度のIC（集積回路）の生産実績は、世界的な半導体需要の高まりにより高水準での生産が続き、2007年度以来**15年ぶりに9,000億円を上回った**。
- また、同年の半導体製造装置の生産実績は、国内外の半導体メーカーにおける設備投資が活発に行われたこと等により**5,137億円となり、過去最高**となった。



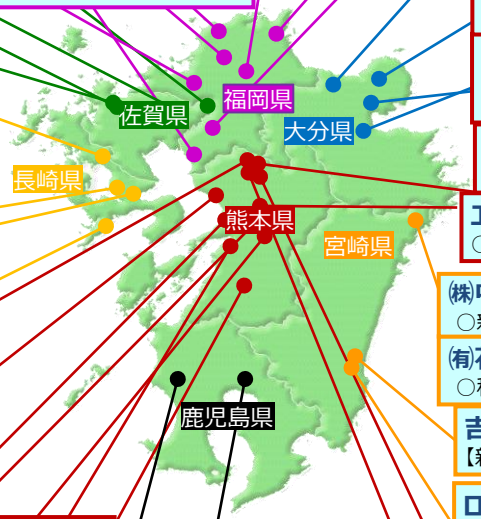
（出所）九州経済産業局「九州地域の鉱工業動向」
（注）一定規模以上の全数調査のため、工業統計の数値とは異なる。



（出所）九州経済産業局「九州地域の鉱工業動向」
（注）一定規模以上の全数調査のため、工業統計の数値とは異なる。

九州の半導体産業の動向　企業の主な設備投資計画・立地協定

合計65件、2兆800億円超
(金額は公表企業分の合計額)



三菱電機㈱パワーデバイス製作所
【福岡市・パワー半導体】
○次世代半導体開発試作棟の建設
○パワー半導体後工程の新工場棟建設

日本ファインテック㈱　岡垣工場
【岡垣町・半導体製造装置組立加工】
○新棟建設

九州住友ベークライト㈱
【直方市・封止材】
○設備増強

双日㈱・メキシケムジャパン㈱
【北九州市・フッ化水素製造】
○フッ素原料製造拠点建設

三菱ケミカル(株)
【北九州市・半導体材料】
○設備増強

メック(株)北九州工場
【北九州市・電子基板薬品製造】
○製造拠点新設

北原ウエルテック㈱　【鳥栖市・半導体製造装置部品】
○新工場建設、立地協定（鳥栖市）

㈱SUMCO　【伊万里市・吉野ヶ里町】
○300mmシリコンウエハ生産基盤整備

㈱岡本工作機械製作所【伊万里市・半導体機械修理】
○半導体サービス拠点拡充

㈱SUMCO　【伊万里市・シリコンウエハ】
○300ミリウエハ生産能力増強に向けた設備等導入

日本ファインテック㈱　宮若工場
【宮若市・半導体製造装置組立加工】
○新棟建設

㈱タケシタ【大木町・半導体製造装置部品】
○設備増強

デンカ(株)【大牟田市・半導体材料】
○設備増強

ローム・アポロ㈱筑後工場
【筑後市・パワー半導体】
○EV等向けパワー半導体の生産能力増強

ルネサスエレクトロニクス㈱　大分工場
【中津市・マイコン・SOC半導体】
○設備増強

㈱ジャパンセミコンダクター
【大分市・パワー半導体】○設備増強

大分デバイステクノロジー㈱
【大分市・パワー半導体】○設備増強

㈱佐々木精工　【豊後高田市・製造装置】
○新工場建設（移転）

㈱スズキ
【大分市・半導体製造用機器等販売】
○新棟建設（保管倉庫）

㈱レスターエレクトロニクス
【大津町・半導体製品検査】
○試験設備増強、立地協定（大津町）

㈱エリア　【杵築市・半導体テスト開発等】
○設備増強

SUMCO TECHXIV㈱　【大村市・シリコンウエハ】
○300ミリウエハ生産能力増強に向けたユーティリティ設備等導入

伸和コントロールズ㈱
【大村市・半導体製造装置修理】○拠点新設

ジャパンマテリアル㈱
【大津町・半導体製造用ガス供給装置】
○立地協定（大津町）

日信商工㈱ NISCO熊本
【菊池市・装置部品】○工場新設

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱　長崎TEC
【諫早市・CMOSイメージセンサー】○工場拡張

NRS㈱　【大津町・半導体関連化学品輸送】
○拠点新設、立地協定（大津町）

日本電子材料㈱
【菊池市・プローブカード】○新棟建設

京セラ㈱　【諫早市・先端半導体関連部品】
○新工場建設

エアウォーター㈱【大津町・特殊ガス等】
○半導体向け特殊ガス保管倉庫等の拠点整備

倉敷紡績㈱　【菊池市・製造装置用樹脂加工品】
○新棟建設、立地協定（菊池市）

クアーズテック㈱
【川棚町・フォトマスク】
○設備増強

㈱インターアクション
【長崎市・光学系装置】○開発拠点新設

㈱中園工業所【延岡市・製造装置部品】
○新棟建設

応用電機㈱　【菊池市・半導体検査装置】
○新工場建設、立地協定（菊池市）

㈲花菱精板工業【延岡市・製造装置部品】
○移転増設

平田機工㈱【菊池市・半導体関連生産設備】
○工場建替拡張

北川精機㈱【長崎市・プリント基板関連装置】
○拠点新設、立地協定（長崎県・長崎市）

吉川工業アールエフセミコン㈱
【新富町・テスト工程】○工場増設・設備増強

東京応化工業㈱【菊池市・高純度化学薬品】
○新工場建設、立地協定（菊池市）

㈱荏原製作所
【南関町・半導体製造装置】
○新棟建設

カンケンテクノ㈱
【玉名市・半導体関連機器】
○新工場建設

ローム㈱【国富町・パワー半導体】
○SiCパワー半導体生産拠点新設

第一電材エレクトロニクス㈱【山鹿市・電線ケーブル】
○新工場建設、立地協定（山鹿市）

ルネサスエレクトロニクス㈱
【熊本市・マイコン】○設備増強

三菱電機㈱　【菊池市、合志市・パワー半導体】
○SiCウエハに係る新工場棟建設及び設備増強

日本マーテック㈱
【菊池市・半導体分析】○事業所開設

淀川ヒューテック㈱
【益城町・製造装置部品】
○新工場建設

㈱JCU【益城町・半導体関連薬品】
○新棟建設

マイクロカット㈱【霧島市・製造装置部品】
○工場増設

東京エレクトロン九州㈱【合志市・半導体製造装置】
○感光剤の塗布・現像を行う装置や洗浄装置の開発を行う開発棟の建設

㈱SCREEN SPE サービス
【益城町・半導体製造装置保守】
○新棟建設

京セラ㈱　国分工場
【霧島市・積層セラミックコンデンサ（MLCC）等】
○MLCC生産容量拡大や技術開発強化を目的とした新工場の建設

㈱オジックテクノロジーズ
【合志市・表面処理】○設備増強

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱　熊本TEC
【合志市】○用地取得（表明）

日本通運㈱
【益城町・物流倉庫】○倉庫新設

東フロコーポレーション㈱【霧島市・流量計】
○移転増設、立地協定（霧島市）

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing㈱
【菊陽町・ファウンドリー】○新工場建設（22/28 、12/16 nm）

㈱ケイ・エム・ケイ【宇城市・製造装置部品】
○新工場建設、立地協定（宇城市）

京セラ㈱　鹿児島川内工場
【薩摩川内市・有機パッケージ等】
○有機パッケージ、水晶デバイス用パッケージの生産増強を目的とした新工場建設

大陽日酸㈱　【菊陽町・特殊ガス】
○保管施設開設、支店移転

富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ㈱
【菊陽町・電子材料】○設備増設

㈱テラプローブ【芦北町・テスト工程】
○設備増強、立地協定（芦北町）

SUS株式会社　熊本事業所
【菊陽町・製造装置部品】○事業所増設

ナカヤマ精密㈱
【菊陽町・製造装置部品】○新棟建設

各社・各県・経済産業省のHPを元に九州経済産業局作成（2021年4月～2023年7月14日時点）

全国/九州における半導体産業を巡る動向

	2022年				2023年	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～7月
1． 全国の動き	半導体・デジタル産業戦略検討会議（4/14、7/20、12/19）			令和4年度第2次補正予算の成立（12/2）	半・デジ戦略検討会議（4/3、5/30） ⇒改定版戦略公表（6/6） G7広島サミット（5/18-19）	
①先端半導体の製造基盤確保 ②次世代半導体プロジェクト ③経済安全保障（SC強靭化）	5G促進法及びNEDO法の改正・施行（3/1） Rapidus採択（ポスト５Ｇ基金事業 次世代半導体の研究開発プロジェクト（11/11） 経済安全保障推進法成立（5/11）	TSMC・JASM認定（6/17） 技術研究組合最先端半導体技術センター (LSTC)の設立認可（12/19）	特定重要物資の指定（12/23）	KIOXIA・WD認定（7/26） MICRON認定（9/30） ImecとRapidusのMOC締結(12/6) IBMとRapidusのパートナーシップの締結（12/13）	取組方針決定（1/19）	Rapidus進出表明（2/28） Rapidusへの追加支援（4/25） 第1回認定（4/28） 第2回認定（6/16） 第３回認定（7/14）
2． 各地方ブロックでのコンソーシアムの設立	九州半導体人材育成等コンソーシアム（3/29） 東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会（6/10） 関西蓄電池人材育成等コンソーシアム（8/31）	中国地域半導体関連産業振興協議会（9/5）		中部地域半導体人材育成等連絡協議会（2/17）	北海道半導体人材育成等推進協議会（6/2） 関東半導体人材育成連絡会議（6/2）	
3． 九州半導体人材育成等コンソーシアム	コンソーシアム設立（3/29） ※再掲	第1回会合（5/19） 人材育成WG、サプライチェーン強靭化WG 準備・設置・活動			第２回会合（3/30） 知財補助金・採択（6/8） NEDO事業申請（6/30）	第３回会合（7/26） 同左（高専人材）
		高専による半導体工学概論等コンソーシアム各構成機関による活動展開				
4． 九州各県等による産学官協議体の設立　等	福岡県グリーンデバイス開発・生産拠点協議会 発足（2/2） → 福岡県半導体・デジタル産業振興会議　設立（6/2） ながさき半導体ネットワーク 設立（2/10） 熊本県半導体人材育成会議（3/17）		北九州半導体ネットワーク　設立（7/20）	さが半導体フォーラム　設立（10/12）	熊本県半導体産業推進ビジョン　策定（3/30）	

２．コンソーシアムでの活動について（2023年度）

コンソーシアム活動の方向性

1．コンソーシアムの構成について

① コンソーシアムは、規約第３条に掲げる趣旨（前条の目的に賛同し、**自らが保有する資源の提供等コンソーシアムに協力を惜しまない**）に賛同する機関の集合体。

② 今後も**構成機関による提案・活動**、そして、**一層の構成機関間の連携**等によって、**九州が一体となった活動を展開**する。

③ 今後も、第３条の趣旨に賛同し参画を希望する機関があるときは、規約に基づき、参画の可否を判断する。（＝間口は綴じない）

2．コンソーシアムの活動について

- **九州が目指す３つの姿**を実現するため、構成機関が一丸となり、規約第2条に掲げる**３つの取組**の柱にそった活動を推進する。

九州半導体人材育成等コンソーシアム
＜人材育成WG、サプラーチェーン強靭化WG＞

実現

九州が目指す３つの姿

1．だれもが「半導体は社会基盤の主人公である」とその価値を理解している九州

2．だれもが「半導体を学ぶ楽しさ」に共感している九州

3．半導体産業で働くことに「誇り」と「生き甲斐」を実感する九州

実行

◆取組の３つの方向性

①半導体人材の育成と確保

②企業間取引・サプライチェーンの強化

③海外との産業交流促進

後ほど、安浦/鈴木WG座長より活動状況及び活動計画を説明

後述

コンソーシアムと２つのワーキンググループ

■コンソーシアムの取組は、全体会合において構成機関間で共有と意識の統一を行う。
■取組の具体化と実行は、コンソーシアムの下に設置する２つのワーキンググループ（WG）において行う。WGには、構成機関や有識者等が参加し、事務局はSIIQが担う。

九州半導体人材育成等コンソーシアム
（代表幹事：九州経済産業局長、SIIQ筆頭副会長）

※全体推進

※２０２２年３月２９日設立。
※九経局が会合開催等の事務を担う

※具体的活動の推進（２つのWG）

※２つのWGは、２０２２年５月１８日設置。
※SIIQがWGの事務局を務める。

①人材育成WG

②サプライチェーン強靭化WG

※２つのWGの活動に含まれる

※「海外との産業（人材含む）交流促進」（３本柱の１つ）

2.-1　2023年度　活動の方向性について
（３つの方向性：２つのＷＧ、海外との交流）

2023年度　コンソーシアムの活動について

３つの方向性

- 半導体人材の育成・確保（⇒人材育成ＷＧ）
- 半導体大手企業と地場企業、ユーザー企業との取引強化（⇒サプライチェーン強靱化ＷＧ）
- 海外との産業交流促進（⇒「九州・台湾半導体交流訪問団」のフォロー、新展開）

1.　半導体人材の育成・確保

①半導体産業の魅力発信

【現状】

・理系学生等への認知が不充分で、半導体、半導体産業の魅力が浸透していない

例）半導体産業に「関心がある」学生等は、半数程度（51%）
「半導体産業で働きたいと思わない」が６割超（61.4%）

【活動内容】

・半導体人材裾野拡大に向けたコンテンツの検討・試作
・教員向け企業研修会の実施　等

②人材育成・確保

【現状】

・高専での育成、大学等での社会人育成、出前授業が各地で始動。複数の大学等で次年度から人材育成体制が強化
・九州では、1,000人程度の人材不足が続く見通し
・グローバルレベルの人材育成について有識者による議論開始
・台湾では、企業が大学等に資金・人材を投入。共同研究や即戦力人材の育成につなげている（⇒３．海外・・へ）

【活動内容】

・半導体人材受給ギャップ、教育・輩出ポテンシャル【調査】
・汎用的・横断的な学習コンテンツの検討・試作
・大学連携によるプロフェッショナル・グローバル人材育成の検討

2. 半導体大手企業と地場企業等との取引強化

③サプライチェーン強靱化

【現状】

・設備投資・新規立地が活性化。九州のプレゼンスが向上
・企業間取引では、ロックダウン等による稼働停止を受け、サプライチェーンが混乱。企業間ネットワーク強化の必要性を確認

【活動内容】

・顔の見えるネットワーク構築に向けた「連携の深化と拡大」
・設計・開発力強化などの「新たなビジネスモデル」検討WS開催
・脱炭素などグローバルサプライチェーンで必要となる勉強会開催　等

3．海外との産業交流促進

④台湾との産学交流促進

【現状】

・「九州・台湾半導体交流訪問団」の訪台を機に、現地及び当地サプライチェーン参入への期待が上昇
・現地大学等への訪問を機に、大学間で交流拡大の機運が萌芽

【活動内容】

・SEMICON Taiwan（９月）での訪台
（九州・台湾半導体技術・人材交流国際シンポジウム/現地調査）
・台湾EXPO（11月）での訪日団受入れ　等

（仮称）九州・台湾半導体技術・人材交流 国際シンポジウム（一部・調整中）

- 前回2月の台湾ミッションの成果創出を目指し、「セミコン台湾2023」開催にあわせて、九州・台湾双方の学術界や産業界関係者によるシンポジウムを開催する方向で台湾側と調整中。
- 本シンポジウム開催を機に、**具体的な産学交流を加速させる**とともに、**SIIQとITRI（台・工業技術研究院）の関係強化**を図る。

◆主　催：九州大学、九州半導体人材育成等コンソーシアム、（一社）九州半導体デジタル・イノベーション協議会、工業技術研究院（台・ITRI）ほか
◆日　時：**2023年9月7日（木）13:00～16:55**
◆場　所：2023セミコン台湾展示会　南港展覧館第一会場5階500会議室（70～100名）
◆テーマ：**台湾と九州における半導体関係の技術・人材交流について（仮）**

（仮称）台湾・九州半導体技術・人材交流国際シンポジウム（案）

イベント受付／入場　（※同時通訳あり）

講演者１（台湾：学術界）陽明交通大学　侯拓宏 教授（台湾半導体研究中心）
講演者２（九州：学術界）九州大学　白谷正治 副学長
講演者３（台湾：研究機関）ITRI電子光電システム研究所　駱韋仲 副所長

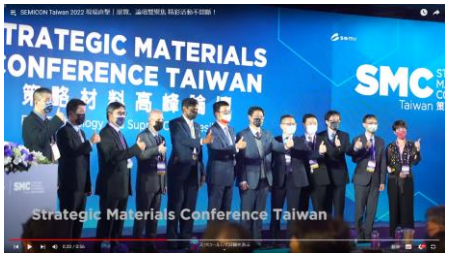
講演者４（九州：産業界）ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング　山口宜洋 社長
講演者５（台湾：産業界）益芯科技（CMSC）陳仲羲 董事長
講演者６（九州：産業界）三菱電機パワーデバイス製作所 山田順治応用技術統括

パネルセッション
ホスト：ITRI　胡竹生協理、九州半導体人材育成等コンソーシアム　岩上代表幹事
参加者：ITRI（駱韋仲副所長）、陽明交通大学（侯拓宏教授）
九州大学（白谷正治副学長）、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（山口宜洋社長）
三菱電機パワーデバイス製作所（山田順治応用技術統括）、CMSC（陳仲羲董事長）

記念写真

（参考）「セミコン台湾2023」

展示会の開催時間
・2023年9月6日（水）10:00-17:00
・2023年9月7日（木）10:00-17:00
・2023年9月8日（金）10:00-16:00
（参考：2022年実績）
来場者数：45,000人　／　出展社数：707社



出典：SEMI 國際半導體產業協會のYouTubeチャンネルより（SWMICON Taiwan2022の様子）

年度スケジュール

	2023年			2024年
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
九州半導体人材育成等コンソーシアム		● 第３回会合 （7/26）		● 第４回会合 （2or3月下旬）
人材育成等WG		● 第１回WG （8/7） NEDO調査事業 （7/20採択） サブWG（学習教材） サブWG（魅力発信） トップ人材MTG ●第１回（4/7） ●第２回（6/29）	● 第2回WG （11月頃） ●第３回（9月頃）	● 第3回WG （2月頃） ●第４回（12月頃）
サプライチェーン強靭化WG		● 第１回WG （8/8） 知財事業（採択済） WS（候補：設計・開発力強化） WS（候補：BCP、物流）	● 第2回WG （11月頃）	● 第3回WG （2月頃）
【参考】 出前講座 教員向け研修会 海外交流事業	佐世保高専、SIIQ、九工大 ●北九州高専、FAIS（4/28） 高校、大学、一般向け講座 FAIS 大分高専、大分県	熊本工業高校、SIIQ 木更津高専、SIIQ ● セミコン台湾 （9/6～8）	佐世保高専、SIIQ 熊本高専、SIIQ 大分大、SIIQ、大分県 ● 台湾EXPO （11/9～11）	教員向け企業研修会 （SIIQ、構成機関）

2.-2　構成機関による取組・活動について

コンソーシアム構成機関による取組・活動状況

- 59機関が、171件の人材育成に係る事業・取組を実施予定（実施済を含む）
- うち、**84件（49.1%）**の事業・取組が、**新規・拡充/強化**されている事業
- 産業界での事業・取組件数が73件と多く、教育機関では新規事業や拡充/強化されている事業・取組の割合が高い（63.2%）ことが特徴。【後述】

構成機関へのアンケート調査結果

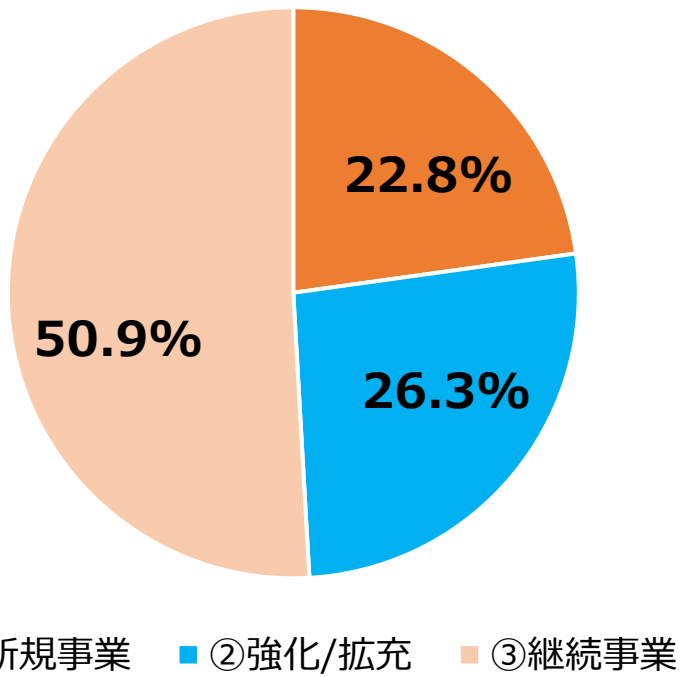
■回答機関数：78機関
（n＝89）

■回答内訳（件数）：

事業実施機関	59
①新規事業（件数）	39
②強化／拡充する事業（件数）	45
③継続事業（件数）	87
事業件数（①～③の合計件数）	171
事業未実施の機関	19

注１）各機関からの回答をもとに集計しているため、同一の事業をＮつの機関が連携して実施した場合は、Ｎ件としてカウントしている。以下同じ。
注２）①新規、②強化／拡充、③継続の区分については、回答機関の判断による。以下同じ

事業・取組状況（2022年度との比較）



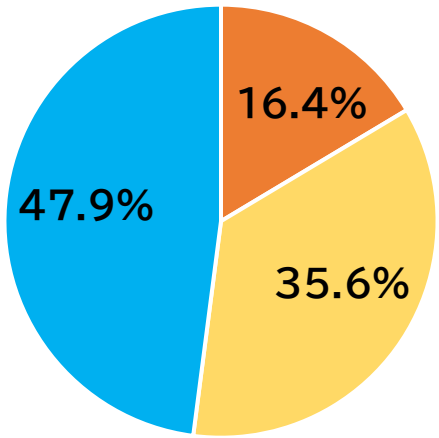
出所）構成機関への事前アンケートをもとに事務局作成

産業界の取組・活動状況

- 産業界では、37機関が<u>73件の事業・取組を実施</u>予定（実施済を含む）
- うち、38件（52%）が新規、拡充/強化されている事業

■回答内訳：

①新規事業	12件
②強化/拡充	26件
③継続事業	35件
計	73件



注１）各機関からの回答をもとに集計しているため、同一の事業をＮつの機関が連携して実施した場合は、Ｎ件としてカウントしている。以下同じ。
注２）①新規、②強化／拡充、③継続の区分については、回答機関の判断による。以下同じ

■取組事例：

①新規事業

○**<u>半導体人材育成カリキュラム</u>**を作成。
全国46拠点の訓練校にて展開。【人材派遣業】

○リスキリング教育及び半導体工場にて働くために必要な安全教育、業績改善教育の**<u>カリキュラムを台湾を参考に強化</u>**。【半導体製造装置製造業・人材派遣業】

②強化/拡充

○高等学校への企業・業界説明会実施の拡充・強化
実業高校に加え、**<u>普通校（進学校）への説明機会拡充</u>**【非金属鉱物製品製造業】

○半導体設計分野での**<u>設計者教育を実施</u>**中。
年度内はほぼ毎月 1回を計画済。【コンサルティング業】

○2023年4月、熊本県大津町に**<u>全国で9つ目の教育施設を開設</u>**。
施設には**<u>半導体製造装置を導入</u>**し、実際に装置を動かしながら**<u>保全・メンテナンス等の訓練</u>**を実施。【人材派遣業】

○社内訓練施設の**装置を拡充**し、従来座学でしか学べなかった工程についても順次、**実機で学習できるよう準備中**。【卸売業・人材教育】

③継続事業

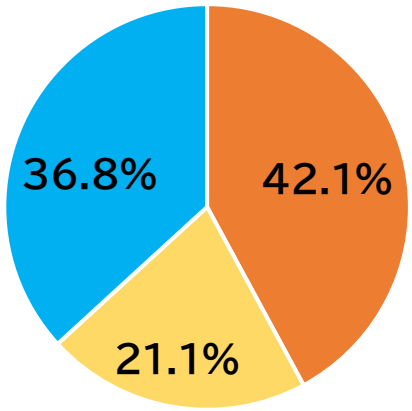
○県内の高校向けの説明会【集積回路製造業】
既存の会社説明会資料を使いながら半導体業界や活躍するエンジニアの幅広さを説明。**<u>４月入社のOB社員に協力してもらい、Teamsで台湾とつないで研修や暮らしの状況を説明</u>**。

教育機関の取組・活動状況

- 教育機関では、16機関が19件の事業・取組を実施予定（実施済を含む）
- うち、**12件（63.2%）の取組・事業が、新規、拡充/強化**されている事業

■回答内訳：

①新規事業	8件
②強化/拡充	4件
③継続事業	7件
計	19件



■①新規事業　■②強化/拡充　■③継続事業

注１）各機関からの回答をもとに集計しているため、同一の事業をＮつの機関が連携して実施した場合は、Ｎ件としてカウントしている。以下同じ。
注２）①新規、②強化／拡充、③継続の区分については、回答機関の判断による。以下同じ

■取組事例：

①新規事業

○**「価値創造型半導体人材育成センター」を新設**。【国立大学】
○半導体関連基礎研究を中心に、九州の２大学や企業との**共同研究を実施する施設を整備**。【国立大学】
○**半導体人材育成カリキュラム構想をスタート**。
県やSIIQと連携し、県内企業の協力を得て、今年度から「半導体概論」を開講。【国立大学】
○幼児、小学生向けに市科学館で毎年開催している**理科教室において半導体関連のテーマを展開**することを予定。【国立大学】
○今年度下期（10月～）より、情報科学専門学校の4年課程に在籍する学生の3年生に対して、**選択科目として半導体に関する授業を新たに導入することを検討中**（1単位分：約30時間）【専門学校】

②強化/拡充

○新たな研究科開設（2024年4月予定）に併せてカリキュラムを改変
博士前期課程でほぼ全大学院生が「マイクロデバイス概論」「半導体マニュファクチャリング総論」を受講できる体制とする予定。【国立大学】

③継続事業

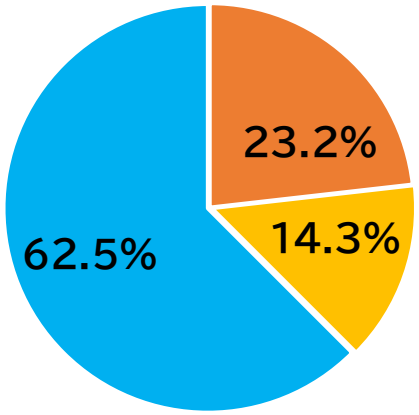
○今夏に開催予定の**オープンキャンパス**で、**高校生向けに半導体をテーマにした模擬講義**を行う予定。【私立大学】
○「半導体工学概論」の内容を更新し開講。【高専】
○情報学部１年生を対象とした**「半導体回路設計コンテスト」**を開催。【私立大学】

行政機関の取組・活動状況

- 行政機関では、11機関が56件の事業・取組を実施予定（実施済を含む）
- うち、**21件（38.7%）の取組・事業が、新規、拡充/強化**されている事業

■回答内訳：

①新規事業	13件
②強化/拡充	8件
③継続事業	35件
計	56件



■①新規事業　■②強化/拡充　■③継続事業

■取組事例：

①新規事業

○半導体デザインセンターの**誘致**。【政令市】

○**工業高校**において**半導体人材育成の検討開始**。R5.5月に高校見学・意見交換会開催。（企業や大学、計17団体参加）【県】

○**就職活動を始める前の学生**を対象に 半導体業界の魅力・未来を伝える講話及び**県内半導体関連企業による講話**。【県】

②強化/拡充

○**普通科高校向け**に、**県内半導体関連企業から講師を招聘**し、学びの幅を広げるとともに、進学及び就職時の選択肢へ繋げる**講演会**を開催。

○大学と連携し，同大キャリアデザイン講座及び工学部の授業において、県内半導体関連企業による講座を開催。【県】

③継続事業

○**Z世代に半導体業界の魅力を伝えるためのシンポジウム**や、実際に半導体関連企業で働く魅力を伝える**オープンファクトリーの開催**等に教育機関との連携を強化しながら取り組むことで、将来にわたって半導体業界の人材確保を図る取組を継続。【県】

○ 共同研究に向けた企業と大学とのマッチングイベント実施、各種広告媒体を活用した半導体業界のPR（学生・保護者向け）、半導体業界セミナー（動画による大学生向け業界PRセミナー）等を実施。【県】

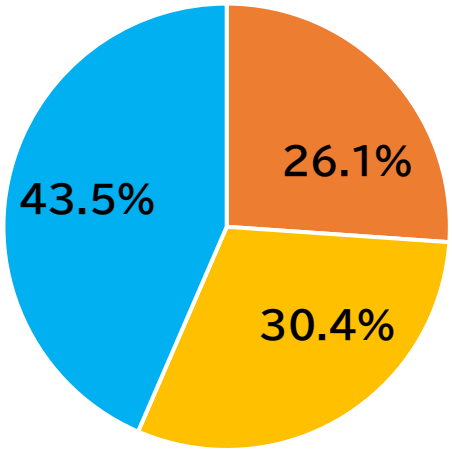
注１）各機関からの回答をもとに集計しているため、同一の事業をＮつの機関が連携して実施した場合は、Ｎ件としてカウントしている。以下同じ。
注２）①新規、②強化／拡充、③継続の区分については、回答機関の判断による。以下同じ

協力機関・支援機関の取組・活動状況

- 協力・支援機関では、14機関が23件の事業・取組を実施予定（実施済を含む）
- うち、**13件（56.5%）の取組・事業が、新規、拡充/強化**されている事業

■回答内訳：

①新規事業	6件
②強化/拡充	7件
③継続事業	10件
計	23件



注１）各機関からの回答をもとに集計しているため、同一の事業をＮつの機関が連携して実施した場合は、Ｎ件としてカウントしている。以下同じ。
注２）①新規、②強化／拡充、③継続の区分については、回答機関の判断による。以下同じ

■取組事例：

①新規事業

○これから半導体関連業務を目指す方や半導体関連業務に係る若手技術者の方を対象に、半導体産業の「全体俯瞰」「ものづくりのつながり」「基礎知識」を提供する「半導体基礎講座（座学）」を**４講座体系的に整備して４月から実施**。【協力機関】

○熊本県技術短期大学校と連携し、**会員企業を講師として派遣**（8企業・各１コマ）【協力機関】

②強化/拡充

○**台湾の半導体設計企業との交流会**を実施予定。【協力機関】

○デバイス（半導体）からサービスまで幅広い活動を支援している「福岡DXコミュニティ」および「One Kyushu DXイニシアティブ」の相談機能/マッチング機能をさらに強化し、**「DXなんでも相談窓口（仮称）」**として7月3日にサイトを公開。【協力機関】

③継続事業

○半導体産業をターゲットとする「多様な連合体形成」のための将来ビジョン策定に向けた**九州半導体産業動向調査**。【協力機関】

○**知的財産を活用したサプライチェーン強靭化**のための地元企業に対する**助言・支援**の提供。【協力機関】

○**小冊子の配布**（①スマホのなかをのぞいてみよう、②デジタル技術の明日をのぞいてみよう）【協力機関】

（参考）2023年度　構成機関による取組事例一覧（予定・検討中含む）

	小学校	中学校	高校	高専	大学	大学院	社会人
1. 魅力発信	企業の魅力発信動画制作、Z世代・保護者向けシンポジウム、オープンファクトリー 【佐賀県】						
				半導体業界　動画制作 【長崎県】			
	全世帯広報誌（半導体業界特集掲載）、広報番組（半導体ネットワーク特集放映）、業界PR記事掲載、業界PRポスター製作 【長崎県】						
	北九州ゆめみらいワーク２０２２出展 【北九州市】						
			CEATEC 2022・半導体フォーラム2022 【JEITA等】				
2. 人材育成	半導体工作教室 【長崎県】		出前授業 【SIIQ】熊本工業高 【佐賀県】唐津東高 致遠館高 【九州大】 →九州内の高校	半導体工学概論、デバイス工学 【佐世保高専】	カリキュラム改変 【福大、長崎大】	半導体関係の教員増【各大学】	半導体基礎講座の整備・実施 【FAIS】
	しごと学びWEBライブ作成 【熊本市】			半導体工学概論 【熊本高専】	半導体教育に特化した学士課程創設【熊本大】	価値創造型半導体人材育成センター開設【九州大】	半導体講座 （リアル/オンライン） 【システム開発技術カレッジ/ふくおかIST】
	教材（小冊子）の作成・配布 【JEITA】				半導体人材育成カリキュラム開始 【大分大/SIIQ/大分県】	「マイクロデバイス設計・製造・活用総合研究センター」開設 【長崎大】	
	出前授業 【熊本県、崇城大学、企業】		オープンキャンパスで模擬講義【近大福岡】	半導体専門講座 産学連携講座 【大分高専】			基礎講座、専門講座、技術者塾【大分県】
			工業高校での検討開始【長崎県、企業】		半導体製造実習装置の導入 【近大福岡】	半導体を中心とする共同研究施設の整備【熊本大】	
			電子科定員増 【大分工業高校】	半導体活用基礎講座【北九州高専/FAIS】			人材育成経費への補助【鹿児島県】
			企業と教員等との情報交換会・研修会【鹿児島県】		産学連携講座 【鹿児島大】		
				半導体製造研修（実機研修）【九州工業大学　等】			
				半導体技術者検定３級セミナー【北九州市】			
			出前授業【熊本県、鹿児島県】			半導体講義、技術講義、プロセス見学 【宮崎大】	
			教員向け企業研修会 【SIIQ】				
3. 人材確保			合同企業説明会・、ジョブカフェ、UIJターン支援等による就職相談・情報提供 【各自治体】				
			企業プロモーションツアー・WEBインターンシップ 【福岡県】				自社訓練施設の開設・拡充。カリキュラム拡充【人材各社】
			探求学習プログラムの展開【人材企業】	ものづくりオーダーメイド訓練 【福岡県】			
			テクノピッチ・企業見学会 【大分県】				
			くまもと産業復興EXPO 【熊本県】				
			インターンシップ、企業説明会、出前講座・授業、工場見学 【各企業】				

赤字は新規・拡充

３．規約改正について

規約改正について

主な改正理由

① 2023年6月6日、**「半導体・デジタル産業戦略」が改定**されたことを追記。
② 共同事務局の「九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会」が、**本年4月より新たに「一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会」に改組**したことによる改正。
③ **構成機関を新たに１３機関追加**したことによる「別紙　コンソ構成機関一覧」の改正。

（目的）
第２条　コンソーシアムは、令和３年６月４日に経済産業省がとりまとめた半導体・デジタル産業戦略（令和５年６月６日公表の改定版含む）及び令和３年１１月８日に政府の新しい資本主義実現会議において本部決定した「緊急提言」の主旨に則り、九州地域において次の事項に取り組み、我が国の半導体産業基盤の強化を図ることを目的とする。

（構成）
第３条　コンソーシアムは、前条の目的に賛同し、自らが保有する資源の提供等コンソーシアムに協力を惜しまない半導体関連企業、関係団体、支援機関、教育機関、国の行政機関並びに関係地方公共団体等の別表に揚げる機関によって構成する。

２　コンソーシアムに幹事を置く。
一　経済産業省九州経済産業局長及び一般社団法人九州半導体・デジタル~~エレクトロニクス~~イノベーション協議会会長が指名した者が共同でコンソーシアムを代表する幹事（以下「代表幹事」という。）を務めるものとする。
二　代表幹事は、コンソーシアムの目的に照らし参画が適切でないと認められる場合を除き、構成機関を追加することができる。
三　代表幹事は、必要と認めるときは、幹事を追加することができる。
四　幹事の任期は、令和６~~５~~年３月３１日までとする。ただし、再任することができる。

（事務局）
第７条　コンソーシアムは、主たる事務局を経済産業省九州経済産業局内に置き、一般社団法人九州半導体・デジタル~~エレクトロニクス~~イノベーション協議会が事務局を補佐する。

（別紙）　「九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関一覧」に新規加盟機関を追加。（次頁参照）

（別紙）

○九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関一覧

産業界	1	株式会社アスカインデックス
	2	株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン
	3	エア・ウォーター株式会社
	4	株式会社エイジェック
	5	エスアイユー株式会社
	6	SMC株式会社
	7	NRS株式会社
	8	株式会社OSナノテクノロジー
	9	**株式会社オジックテクノロジーズ**
	10	株式会社くまさんメディクス
	11	計測エンジニアリングシステム株式会社
	12	サクセスインターナショナル株式会社
	13	**櫻井精技株式会社**
	14	**株式会社SUMCO**
	15	株式会社ジーダット
	16	**Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社**
	17	**株式会社ジャパンセミコンコンダクター**
	18	JSR株式会社
	19	**株式会社スズキ**
	20	株式会社スタッフサービス
	21	**ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社**
	22	株式会社タケシタ
	23	**中央電子工業株式会社**
	24	株式会社テラプローブ
	25	**株式会社デンソー**
	26	**東京エレクトロン九州株式会社**
	27	東京応化工業株式会社
	28	東芝情報システム株式会社
	29	日研トータルソーシング株式会社
	30	日清紡マイクロデバイスAT株式会社
	31	日総工産株式会社
	32	株式会社日本マイクロニクス
	33	**株式会社ピーエムティー**
	34	株式会社藤田ワークス
	35	**株式会社マイスティア**
	36	株式会社マイナビ
	37	**三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所**
	38	**株式会社安川電機**
	39	UTエイム株式会社
	40	**ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場**
	41	リクルーティング・パートナーズ株式会社
	42	**ルネサスエレクトロニクス株式会社**
	43	**株式会社ワールドインテック**
教育機関	44	学校法人岩崎学園
	45	国立大学法人大分大学
	46	**国立大学法人鹿児島大学**
	47	**国立大学法人九州工業大学**
	48	**国立大学法人九州大学**
	49	学校法人近畿大学　産業理工学部（福岡キャンパス）
	50	**熊本県立技術短期大学校**
	51	**国立大学法人熊本大学**
	52	**独立行政法人国立高等専門学校機構**
	53	国立大学法人佐賀大学
	54	崇城大学
	55	東海大学 九州キャンパス
	56	国立大学法人長崎大学
	57	**学校法人福岡大学 半導体実装研究所**
	58	**国立大学法人宮崎大学**
	59	学校法人早稲田大学 情報生産システム研究センター
行政機関	60	**福岡県**
	61	**佐賀県**
	62	**長崎県**
	63	**熊本県**
	64	**大分県**
	65	**宮崎県**
	66	**鹿児島県**
	67	**北九州市**
	68	**福岡市**
	69	**熊本市**
	70	**文部科学省**
	71	**経済産業省**
	72	**国土交通省九州運輸局**
協力機関	73	**大分県LSIクラスター形成推進会議**
	74	かごしまモノづくり推進協議会
	75	公益財団法人北九州産業学術推進機構
	76	**一般財団法人九州オープンイノベーションセンター**
	77	公益財団法人九州経済調査協会
	78	**一般社団法人九州経済連合会**
	79	公益財団法人九州先端科学技術研究所
	80	一般社団法人熊本県工業連合会
	81	公益財団法人佐賀県産業振興機構
	82	**国立研究開発法人産業技術総合研究所 九州センター**
	83	SEMIジャパン
	84	**独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部**
	85	**一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）**
	86	株式会社日本政策投資銀行
	87	**独立行政法人日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター**
	88	公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
	89	明倫国際法律事務所
事務局		経済産業省九州経済産業局
		九州半導体・デジタルイノベーション協議会

※令和５年７月４日時点。**太字**は当初メンバー。朱書きが新規。区分毎に五十音順（行政機関除く）